

令和 6 年度学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和 7 年 7 月 30 日 15：00～16：10

場 所：香里ヶ丘看護専門学校 会議室

参加者：

(学校事務局)	香里ヶ丘看護専門学校学校長	守上賢策
	香里ヶ丘看護専門学校副学校長	上原奈々
	香里ヶ丘看護専門学校事務課長	奧林佑貴（進行）
(学校関係者評価委員)	香里ヶ丘有恵会病院看護部長	岡田美子
	社会医療法人弘道会常務理事	高木誠一

議題：

1. 参加委員の紹介と学校関係者評価の趣旨の確認
各委員の紹介、本委員会の目的について確認。

2. 令和 6 年度における変化、自己点検自己評価結果に関する共有

【学校運営について】

実習施設として関係性のある社会医療法人弘道会への事業譲渡及び令和 8 年度学校法人指定申請に向けて手続きを進めている。資金面の充足や多くの医療機関から実習、就職面でバックアップを受けられることで学生の満足度を上げられるメリットがあるため積極的に情報発信を行っていきたい。

しかし令和 5 年度にも同じように準備を行っていた別法人への事業譲渡が中止されたことが噂となり関係者に不安を与えてしまっているため学生、保護者、関係各所へ安心感を与えられるよう発信が必要な状況。

【受験生確保について】

令和 7 年度入学入試は出願者数が前年度比 86.8%と減少していること、不合格、辞退者が例年より多く出たことにより 80 名の定員を割ることとなった。今年度より開始している AO 入試について本校のアドミッションポリシーへの理解が足りておらず伸び悩んだため情報発信と審査基準について改めて検討を行う。

出願者の減少としては 18 歳人口の減少もあるが大学志向の学生増加、競合校の新校舎は大きく影響していると考えられる。

高校生の進路決定が早まっていることもあり高校 2 年生が情報を取り入れやすくなるよう web 上での学校情報の掲載媒体を増やす、情報の質・魅力を向上させる等対策をとる。在校生については前年度に引き続き退学者が多い年となった。1 年生の退学者について看護師になる動機が弱く、学習についていけず進路変更する学生が多い状況であり、

学年主担や教員より面談を行い、継続を促すがあきらめてしまう学生が増えている。新しい環境、生活に馴染めるよう学年教員のサポートが手厚くなるよう体制を作る。

【学生への支援について】

高等教育の修学支援新制度については対象機関となる要件は満たせていたが授業料減免に対する経理上の検討、準備が整わず見送る形となった。令和7年度より機関要件申請を行い次年度より制度利用できる環境とする。

令和6年度入学生より学生納付金の一部を変更。入学金が40万円、電子教科書の導入によって入学時に負担が集中しているため入学金を20万円、実習費及び教育充実費を年間12万円、校舎管理維持費を年間12万円と3年間に負担を分散できるよう変更を行った。

【教育活動について】

令和6年度卒業生の国家試験結果合格率は94.2%と全国平均を惜しくも下回ってしまったが前年度に比べ合格率は向上する結果となった。

カリキュラム改正後3年次の国家試験対策の時間を多くとっているが学校に登校せず自習している学生が不合格となる傾向が強い。空きコマも登校し教員の指導を受けながら取り組むよう促す。

令和6年度入学生より電子教科書「eテキスト OWL-K」(医学書院)を導入。端末一つで多くの教科書・資料を閲覧できるようになるため学生の荷物が減るだけでなく、授業や国試対策の際、情報収集の効率が向上した。

利便性が向上する反面、書き込みやメモ書きに慣れが必要であること、電池、電波の問題も発生しているため利用方法の習熟、環境の整備が必要。

学生だけでなく教員に関しても講義中の利用方法等検討する。

3. 総括

学校法人化を進めることにより、教育活動の公共性および信頼性を高め、安定した学校運営を実現するとともに、教育環境の充実と継続的な発展を図ることは非常に有意義である。しかしながら学校事業の譲渡による影響は大きいため不安を感じさせないように、受験生だけでなく職員、在校生、関係各所に明るい情報を発信していく。

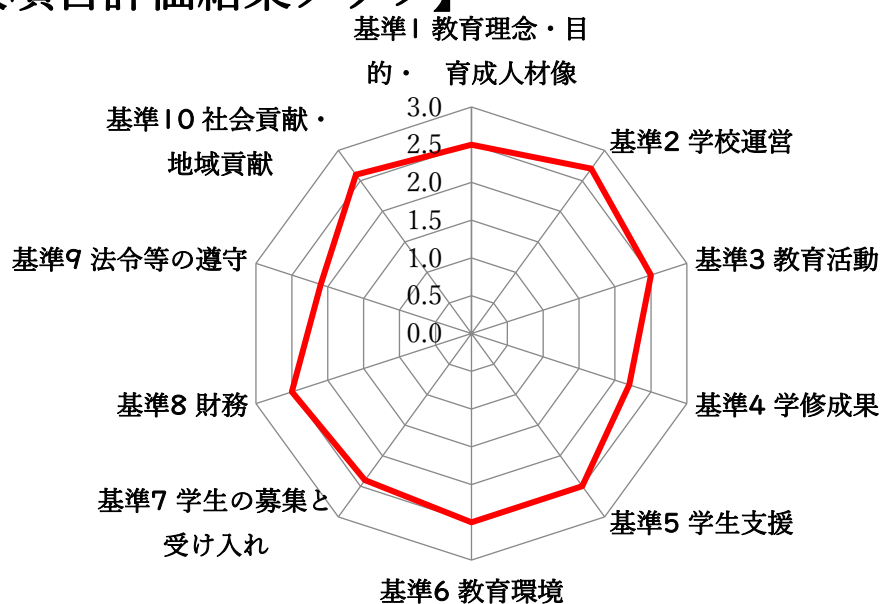
受験生は18歳人口の減少、大学志向の高まり、職業イメージ、進路の多様化等様々な要因で減少傾向にあるため今まで以上に将来を見据えた学校運営計画が必要となる。

今後も関係法令を遵守し、必要な手続きを着実に進めながら、円滑な運営を心掛けてほしい。

【評価結果】

項目	関係者評価
基準1 教育理念・目的・ 育成人材像	2.5
基準2 学校運営	2.7
基準3 教育活動	2.5
基準4 学修成果	2.2
基準5 学生支援	2.5
基準6 教育環境	2.5
基準7 学生の募集と受け入れ	2.4
基準8 財務	2.5
基準9 法令等の遵守	2.1
基準10 社会貢献・地域貢献	2.6

【大項目評価結果グラフ】



以上